



(様式第 9)

防医医第 1956号
平成 25 年 10 月 3 日

関東信越厚生局長 殿

管理者名 防衛医科大学校病院長

防衛医科大学校病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	90人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	194人	45人	196.8人	看護補助者	27人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	10人	2人	10.0人	理学療法士	3人	臨床検査技師	35人
薬剤師	21人	0人	21.0人	作業療法士	2人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	13人	0人	13.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	400人	11人	403.9人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	0人	1人	0.3人	栄養士	0人	その他の技術員	3人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	1人	事務職員	79人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	23人	その他の職員	35人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	447.1人	5.8人	452.9人
1日当たり平均外来患者数	1,196.7人	45.2人	1,241.9人
1日当たり平均調剤数			602剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・パーチエット病	25人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	25人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	36人	・原発性胆汁性肝硬変	22人
・全身性エリテマトーデス	72人	・重症急性膵炎	12人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	15人
・再生不良性貧血	21人	・混合性結合組織病	7人
・サルコイドーシス	39人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	15人	・特発性間質性肺炎	2人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	50人	・網膜色素変性症	9人
・特発性血小板減少性紫斑病	40人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	24人	・肺動脈性肺高血圧症	4人
・潰瘍性大腸炎	50人	・神経線維腫症	4人
・大動脈炎症候群	3人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	3人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	8人	・慢性血栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	21人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	45人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	8人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・ハーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びハーキンソン病)	66人	・球脊髄性筋萎縮症	4人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	6人
・後縦靭帯骨化症	22人	・肥大型心筋症	3人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	13人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	1人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	17人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	6人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	26人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

単位:円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	三浦 総一郎	内科学	1,500,000	補委	厚労科研費
機能性腸管障害に対する大腸菌の有用性・安全性の目的的研究: スケッチアウトの多施設共同臨床試験を比較対照比較試験	三浦 総一郎	内科学	1,500,000	補委	厚労科研費
新型インフルエンザ等の院内感染制御に関する研究	川名 明彦	内科学	1,700,000	補委	厚労科研費
動脈硬化性大動脈弁・血管病変進展におけるストレス応答性分泌蛋白の役割の解明	伯野 大彦	内科学	1,200,000	補委	文科科研費
尿解析による腎疾患の診断に関する検討	尾田 高志	内科学	800,000	補委	文科科研費
セリアック病の臨床実態調査と、その経過に関する前向き検討	渡邊 知佳子	内科学	700,000	補委	文科科研費
血液透析患者における脂質異常症に対するスタチンのアポ蛋白代謝改善効果の解明	池脇 克則	内科学	700,000	補委	文科科研費
HDLによる動脈硬化制御機構の解明-ABCA1/G1のタンパク分解制御の役割	綾織 誠人	内科	800,000	補委	文科科研費
抗ガングリオシト抗体の神経障害機構の解明と新規治療法の開発	海田 賢一	内科	2,500,000	補委	文科科研費
肥満関連液性因子ANGPLT2を介した、脂肪肝・肝臓癌の病態機序の解明	富田 謙吾	内科	1,700,000	補委	文科科研費
福島第一原子力発電所事故復旧作業のストレスが労働者のメンタルヘルスに及ぼす影響	重村 淳	精神科学	4,500,000	補委	厚労科研費
母子分離ストレスの不安行動の脆弱性への影響とその分子機構解明	戸田 裕之	精神科学	1,800,000	補委	文科科研費
ストレスに対する細胞応答	丹生谷 正志	精神科	1,600,000	補委	文科科研費
原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植法の確立	野々山 恵章	小児科学	46,800,000	補委	厚労科研費
血液免疫系細胞分化障害による疾患の診断と治療に関する調査研究	野々山 恵章	小児科学	41,000,000	補委	厚労科研費
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	野々山 恵章	小児科学	3,500,000	補委	厚労科研費
自己炎症疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立	野々山 恵章	小児科学	2,000,000	補委	厚労科研費
原発性免疫不全症候群患者支援団体による患者レジストリの構築を通じた研究支援体制の構築に関わる研究	野々山 恵章	小児科学	300,000	補委	厚労科研費
KREC/TRECによる先天性免疫不全症スクリーニング法開発と病態解析への応用	野々山 恵章	小児科学	4,100,000	補委	文科科研費
ダウン症児における一過性骨髄増殖症の発症と自然治癒機構の分子・生物学的解析	川口 裕之	小児科学	200,000	補委	文科科研費

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

単位:円

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
個別化がん医療を目指した新規バイオマーカー開発	長谷 和生	外科学	1,200,000	補委 厚労科研費
手術手技の最適化による標準治療確立のための多施設共同研究	長谷 和生	外科学	600,000	補委 厚労科研費
国内外科手術成績を基礎とした経口抗がん剤による治癒切除大腸癌術後補助療法の確立	長谷 和生	外科学	700,000	補委 厚労科研費
高度リンパ節転移を伴う進行胃癌の根治を目指した術前化学療法+拡大手術法の確立	辻本 広紀	外科学	400,000	補委 厚労科研費
膵がん切除例に対する補助療法の向上を目指した多施設共同研究	山本 順司	外科学	500,000	補委 厚労科研費
大腸癌先進部に着目した分子発現の検討 ―組織マイクロアレイを用いた網羅的解析―	長谷 和生	外科学	1,300,000	補委 文科科研費
超分子デバイスを用いた胃癌の転移診断と光線力学療法の効果に関する研究	辻本 広紀	外科学	1,200,000	補委 文科科研費
光による肝細胞機能の計測に関する研究	山本 順司	外科学	1,800,000	補委 文科科研費
着磁体による磁界の乱れを利用した閉創前ガーゼ感知システムの開発	檜 顕成	外科	400,000	補委 文科科研費
アトピー性皮膚炎の難治性皮膚病変の病態解析と病態に基づいたピンポイントな新規治療の開発	佐藤 貴浩	皮膚科学	1,000,000	補委 厚労科研費
特発性発汗異常症・色素異常症の病態解析と新規治療薬開発に向けた戦略的研究	佐藤 貴浩	皮膚科学	2,000,000	補委 厚労科研費
好酸球・好塩基球を標的とした慢性そう痒性アレルギー疾患治療と痒みの制御の研究	佐藤 貴浩	皮膚科学	700,000	補委 文科科研費
閉塞性腎症における腎線維化を抑制する新しい薬物治療の開発	伊藤 敬一	泌尿器科学	1,100,000	補委 文科科研費
前立腺癌に対するユビキチン化蛋白蓄積を介した新規治療法の開発	佐藤 全伯	泌尿器科学	1,400,000	補委 文科科研費
腎細胞癌における小胞体ストレス応答と腫瘍進展の機序	黒田 健司	泌尿器科学	500,000	補委 文科科研費
前立腺癌手術における的確な神経温存のための超音響画像化技術の有用性の検証	堀口 明男	泌尿器科	2,000,000	補委 文科科研費
網膜抗原特異的サイトカイン測定によるインフリキシマブ治療の適用、効果判定の検討	竹内 大	眼科学	1,200,000	補委 文科科研費
角膜上皮細胞における紫外線暴露によるp38活性化と上皮間素系移行と細胞死の制御	加藤 直子	眼科学	1,200,000	補委 文科科研費
NO口腔癌における選択的頸部郭清術とセンチネルリンパ節ナビゲーション手術の無作為化比較試験	塩谷 彰浩	耳鼻いんこう科学	900,000	補委 厚労科研費
内耳障害における酸化ストレスの関与の解明と新規診断法および新規治療法の開発	松延 毅	耳鼻いんこう科学	1,400,000	補委 文科科研費

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

単位:円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
頭頸部癌に対するDNA修復阻害遺伝子導入による化学療法および放射線療法増感効果	山下 拓	耳鼻いんこう科学	1,100,000	補 委	文科科研費
難治性喉頭疾患に対する遺伝子治療の応用	荒木 幸仁	耳鼻いんこう科学	800,000	補 委	文科科研費
化学療法先行治療を進行卵巣がんの標準治療とするための研究	高野 政志	産科婦人科学	800,000	補 委	厚労科研費
術中覚醒を減少させるための麻酔関連薬剤の薬物動態学研究	増井 健一	麻酔科	800,000	補 委	文科科研費
吸入麻酔薬が肝単核球免疫能に与える影響	高橋 哲也	麻酔科	1,400,000	補 委	文科科研費
ERK2標的遺伝子欠マウスを用いた脳機能におけるERK2の役割の解明	佐藤 泰司	麻酔科	1,300,000	補 委	文科科研費
吸入麻酔の種類による幼若脳の障害の発現型及び程度の比較	児玉 光巖	麻酔科学	900,000	補 委	文科科研費
インドシアニングリーン金ナノ粒子結合体を用いた腫瘍および脈管病変の診断治療技術	東 隆一	形成外科	800,000	補 委	文科科研費
舌接触補助床の最適形態を導く嚥下圧と嚥下造影検査を用いた評価法の確立	唐帆(中島)純子	歯科口腔外科	600,000	補 委	文科科研費
ヒリ菌と胃炎起因菌の共存が胃癌細胞の増殖に与える影響	西川 可穂子	救急部	1,700,000	補 委	文科科研費
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	田中 祐司	総合臨床部	1,600,000	補 委	厚労科研費
肺高血圧症等による右心負荷の致死性不整脈の発生機序の解明	高瀬 凡平	集中治療部	2,600,000	補 委	文科科研費

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Echocardiography 10(3): P 98 - 100, 2012. 09	The dramatic 3D IVUS imaging demonstrating a dislodged coronary stent	Yokoi Kensuke	内科
Cardiovasc Res (): P 251 - 259, 2012. 06	Statin inhibits hypoxia-induced endothelin-1 via accelerated degradation of HIF-1 α in vascular smooth muscle cells	Tatsuya Hisada	内科
JACC Cardiovasc Imagin 5(): P 570 - 571, 2012. 05	Platypnea-Orthodeoxia Syndrome Due to PFO and Aortic Dilation	Shiraishi Yasunaga	内科
Diagnostic Microbiology and Infectious Disease 75(2): P 155 - 159, 2013. 2	The utility of cerebrospinal fluid for the molecular diagnosis of toxoplasmic encephalitis	Mikita Kei	内科
Clinical Parasitology 23(1): P 41 - 45, 2012. 12	シャーガス病における遺伝子学的診断法の開発と検討.	今井一男	内科
Clinical Parasitology 23(1): P 37 - 40, 2012. 12	皮膚リーシュマニア症の簡易遺伝子診断法の開発と検討	吉川幸尾	内科
J Infect Chemother 18(5): P 609 - 620, 2012. 7	Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the Surveillance Committee of JSC, JID and JCM in 2009: general view of the pathogens' antibacterial susceptibility	Watanabe A	内科
Internal Medicine 51(11): P 1413 - 1417, 2012. 6	A Case of Nocardia asteroides Infection in a Patient with HIV/AIDS Diagnosed by Endobronchial Ultrasound-Guided Transbronchial Needle Aspiration (EBUS-TBNA).	藤倉雄二	内科
Ann Hematol. In Press. (): P - , 2013. 3	Reversible iatrogenic, MTX-associated EBV-driven lymphoproliferation with histopathological features of a lymphomatoid granulomatosis in a patient with rheumatoid arthritis.	Shinichi Kobayashi	内科
Clin Nephrol. (): P 1 - 1, 2013. 3	Transition from endocapillary proliferative glomerulonephritis to membranoproliferative glomerulonephritis in a patient with a prolonged human parvovirus B19 infection.	Uchida Takahiro	内科
内科 111(3): P 405 - 411, 2013. 3	消化管領域における診断内視鏡の歴史と今後の展望	永尾重昭	内科
Dig Dis Sci. 58(2): P 354 - 362, 2013. 2	Attenuation of Acetic Acid-induced Gastric Ulcer Formation in Rats by Glucosylceramide Synthase Inhibitors.	Nakashita Manabu	内科
Int J Colorectal Dis () P - , 2013. 2	Endoscopic finding of spontaneous hemorrhage correlates with tumor necrosis factor alpha expression in colonic mucosa of patients with ulcerative colitis.	Hozumi Hideaki	内科
診断病理 30(1): P 66 - 70, 2013. 1	妊娠中に発症し高度のネフローゼを呈した急性糸球体腎炎の生検例	伏見 聡一郎	内科
消化器の臨床 15(5): P 534 - 538, 2012. 12	経口内視鏡の挿入・検査法【胃】病変に気がついた時のポイント-生検なしにどう判断するか	丸田 紘史	内科
Intern Med. 51(22): P 3203 - 3206, 2012. 11	Tuberculous cellulitis in a patient with chronic kidney disease and polymyalgia rheumatica.	Yuka Daido-Horiuchi	内科
消化器内視鏡 24(11): P 1743 - 1743, 2012. 11	ランブル鞭毛虫症	永尾重昭	内科
消化器内視鏡 24(11): P 1758 - 1758, 2012. 11	転移性十二指腸癌	成松和幸	内科
Dig Dis Sci. 57(10): P 2545 - 2554, 2012. 10	Transmural pressure loading enhances gastric mucosal cell proliferation.	Nakamizo Hiromasa	内科
J Hepatol 57(4): P 837 - 843, 2012. 10	p53/p66Shc-mediated signaling contributes to the progression of non-alcoholic steatohepatitis in humans and mice.	Kengo Tomita	内科
Scand J Gastroenterol 1495(47): P 993 - 1002, 2012. 9	Indomethacin-induced small intestinal injury is ameliorated by cilostazol, a specific PDE-3 inhibitor.	Higashiyama Masaaki	内科
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 4(): P 507 - 513, 2012. 9	Predictive value of the pathological extent of tumor invasion in endoscopic resection margins positive for residual tumor cells in surgically resected specimens of early gastric cancer	Tsujimoto Hironori	内科
日本透析医学会雑誌 27(2): P 363 - 367, 2012. 9	腹膜透析患者における残存腎機能・腹膜機能低下に対するL-cysteineの予防効果	辻明	内科
Progress in Medicine 32(8): P 1728 - 1734, 2012. 8	糸球体内に顕著な泡沫細胞集積をみた、IIb型脂質異常症、IgG κ 型M蛋白血症、ネフローゼ症候群を呈する1例	渡辺篤史	内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Leukoc Biol. 91(6):P 901 - 909, 2012. 6	HIF-1 in T cells ameliorated dextran sodium sulfate-induced murine colitis.	Higashiyama Masaaki	内科
J Neurogastroenterol Motil. 18(2):P 150 - 168, 2012. 4	Asian Consensus Report on Functional Dyspepsia.	Miwa Hiroto	内科
Int J Food Sci Nutr (): P print] - print]. 2013. 1	Consumption of polyphenol-rich juar tea increases endothelium-bound extracellular superoxide dismutase levels in men with metabolic syndrome: link with LDL oxidizability.	Harumi Kondo	内科
Journal of the American Heart Association 2(1):P 1 - 10, 2013. 1	Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitors Attenuate Endothelial Function as Evaluated by Flow-Mediated Vasodilatation in Type 2 Diabetic Patients	Ayaori Makoto	内科
Atherosclerosis 226(1):P 161 - 164, 2013. 1	Effects of pitavastatin and atorvastatin on lipoprotein oxidation biomarkers in patients with dyslipidemia	Yoshida H	内科
J. Adaptation Med. 16():P 31 - 38, 2012. 12	動脈硬化形成抑制におけるコレステロール逆転送系の役割—HDLの量と質のインパクト—	綾織誠人	内科
Vitamins (Japan) 86(8):P 432 - 440, 2012. 8	肝臓星細胞に発現するビタミンA貯蔵酵素lecithin:retinol acyltransferaseによる血中レチノール濃度の調整—還流培養系での代謝シミュレーション—	松浦知和	内科
J Atheroscler Thromb (): P 664 - 672, 2012. 5	Impact of low-and high-density lipoprotein cholesterol levels on carotid intima-media thickness differs by smoking status in middle-aged men.	Taichirou Hayase	内科
Circ Cardiovasc Genet. 5(1):P 35 - 41, 2012. 4	Altered Metabolism of Low-density Lipoprotein and Very Low-density Lipoprotein Remnant in Autosomal Recessive Hypercholesterolemia: Results from Stable Isotope Kinetic Study in vivo.	Tada H	内科
Biochim Biophys Acta. 1821(4):P 561 - 572, 2012. 4	Retinoic acid receptor agonists regulate expression of ATP-binding cassette transporter G1 in macrophages.	Ayaori-Makoto	内科
Mod Rheumatol. (): P - , 2012. 9	The Japanese version of the modified ACR Preliminary Diagnostic Criteria for Fibromyalgia and the Fibromyalgia Symptom Scale: reliability and validity	Usui C	内科
Mod Rheumatol. 22(2):P 243 - 248, 2012. 4	Diffuse alveolar damage in patients with dermatomyositis: a six-case series	Matsuki Y	内科
J Neuroimmunol 254(): P 141 - 145, 2013. 1	An antibody to the GM1/GalNAc-GD1a complex correlates with development of pure motor Guillain-Barré syndrome with reversible conduction failure.	Ogawa Go	内科
Journal of the American Heart Association 2(1):P 1 - 10, 2013. 1	Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitors Attenuate Endothelial Function as Evaluated by Flow-Mediated Vasodilatation in Type 2 Diabetic Patients	Ayaori Makoto	内科
J Neurol Neurosurg Psychiat 83(12):P 1210 - 1215, 2012. 12	Nationwide survey of patients in Japan with Bickerstaff brainstem encephalitis: epidemiological and clinical characteristics.	Koga M	内科
Intern Med. 51(22):P 3203 - 3206, 2012. 11	Tuberculous cellulitis in a patient with chronic kidney disease and polymyalgiarheumatica.	Yuka Daido-Horiuchi	内科
埼玉県医学会雑誌 47(1):P 183 - 186, 2012. 11	アルツハイマー患者における長期予後と脳血流SPECT所見	辻博晶	内科
Diagnostic Microbiology and Infectious Disease 74(): P 183 - 185, 2012. 10	Bacteremia due to Mycobacterium massiliense in a patient with chronic myelogenous leukemia: case report	Takaaki Hamamoto	内科
J Neurol 259(10):P 2067 - 2075, 2012. 10	The spectrum of clinicopathological features in pure autonomic neuropathy.	Koike H	内科
Muscle Nerve 46(2):P 181 - 186, 2012. 8	Electromyographs of the flexor digitorum profundus muscle are useful for the diagnosis of inclusion body myositis.	Keiichi Hokkoku	内科
臨床神経学 52(7):P 491 - 494, 2012. 7	MRI上亜急性連合性脊髄変性症類似の後索病変を呈した Sjogren症候群の一例	本郷悠	内科
Brain Research 1492(): P 7 - 17, 2013. 1	ROCK2 regulates bFGF-induced proliferation of SH-SY5Y cells through GSK-3b and b-catenin pathway	Boku Shuken	精神科
子どもの虐待とネグレクト 14(3):P 386 - 395, 2012. 12	胎児虐待する母親と精神科治療—各科連携と地域連携によって出産を迎えた女性例を通じて—	高橋知久	精神科
精神神経学雑誌 114(11) P 1274 - 1283, 2012. 11	復興ストレスの諸相—福島原発勤務員へのメンタルヘルス支援活動—	佐野信也	精神科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
精神神経学雑誌 114(11):P 1291-1296, 2012. 11	東日本大震災に伴う災害派遣を考える—自衛隊仙台病院とハイチPKOの派遣経験を通じて—	谷知正章	精神科
日本精神科病院協会雑誌 31(9):P 52-56, 2012. 9	福島第一・第二原子力発電所職員へのメンタルヘルス支援活動	重村淳	精神科
小児保健研究 71(5):P 737-734, 2012. 9	産後の母親のうつ傾向を予測する妊娠期要因に関する研究—子ども虐待防止の視点から—	中板育美	精神科
JAMA 308(7):P 667-669, 2012. 7	Psychological distress in workers at the Fukushima nuclear power plants.	Shigemura Jun	精神科
BMC Psychiatry 12(1):P 73-73, 2012. 7	Utility and limitations of PHQ-9 in a clinic specializing in psychiatric care	Inoue Takeshi	精神科
International Journal Neuropsychopharmacology 14(0):P 1-10, 2012. 6	Involvement of CaMKIV in neurogenic effect with chronic fluoxetine treatment	Ning Song	精神科
Cell reports ():P 1-11, 2013. 3	Impaired KLHL3-Mediated Ubiquitination of WNK4 Causes Human Hypertension.	Wakabayashi Mai	小児科
Pediatr Dermatol. ():P press—press, 2013. 1	Factors Associated with Steroid Phobia in Caregivers of children with Atopic Dermatitis	小島令嗣	小児科
Clin. Microbiol. 51():P 356-359, 2013. 1	Neonatal herpes encephalitis caused by a virologically confirmed acyclovir resistant herpes simplex virus type 1.	Kakiuchi S	小児科
Pediatr Dermatol. 30():P 17-22, 2013. 1	Salivary Cortisol Response to Stress in Young Children with Atopic Dermatitis.	小島令嗣	小児科
Clin Endocrinol. 77():P 328-634, 2012. 10	Endocrine complications in primary immunodeficiency diseases in Japan.	Nozaki T	小児科
Curr Chem Genomics 6():P 27-37, 2012. 9	A dual reporter splicing assay using HaloTag-containing proteins.	Oshima K	小児科
Eur J Pediatr. 171():P 1273-1276, 2012. 8	GATA-2 anomaly and clinical phenotype of a sporadic case of lymphedema, dendritic cell, monocyte, B- and NK-cell (DCML) deficiency, and myelodysplasia.	Ishida H	小児科
Pediatr Int. 54():P 543-546, 2012. 8	Hyper-eosinophilia in granular acute B-cell lymphoblastic leukemia with myeloid antigen expression.	小林大介	小児科
J Clin Immunol. 32():P 690-697, 2012. 8	Multiple reversions of an IL2RG mutation restore T cell function in an X-linked severe combined immunodeficiency patient.	Kawai T	小児科
American Journal of Cardiology 110(4):P 586-593, 2012. 8	Outcomes of Childhood Pulmonary Arterial Hypertension in BMPR2 and ALK1 Mutation Carriers	chida Ayako	小児科
Scand J Infect Dis. 44():P 605-609, 2012. 8	Survey of Japanese infants younger than 3 months who were treated with oseltamivir for influenza: Safety of oseltamivir treatment.	Morioka I	小児科
日本小児循環器学会雑誌 28(4):P 195-202, 2012. 7	マウスwhole heartを用いた心発生過程における筋小胞体(SR)機能解析	石渡隆寛	小児科
日本小児腎不全学会雑誌(1341-5875) 32():P 261-263, 2012. 7	尿中に大量の尿酸アンモニウム結晶を認めたが腎後性腎不全には至らなかったロタウイルス胃腸炎の1例	橋本淳也	小児科
Int J Hematol. 95():P 692-696, 2012. 6	Delayed onset adenosine deaminase deficiency associated with acute disseminated encephalomyelitis.	Nakaoka H	小児科
Circ J. 76():P 1501-1508, 2012. 6	Missense Mutations of the BMPR1B (ALK6) Gene in Childhood Idiopathic Pulmonary Arterial Hypertension.	千田礼子	小児科
Journal of Surgical Research 175(2):P 83-88, 2012. 6	The Postoperative Serum Interleukin-15 Concentration Correlates with Organ Dysfunction and the Prognosis of Septic Patients Following Emergency Gastrointestinal Surgery.	Akifumi Kimura	小児科
Annals of Surgical Oncology 19(5):P 1517-1528, 2012. 5	Impact of race/ethnicity on prognosis in patients who underwent surgery for colon cancer; analysis for white, African, and East Asian Americans.	Hashiguchi Yojiro	小児科
Hepato-Gastroenterology 59():P 2650-2652, 2012. 5	Importance of Maintaining Left Gastric Arterial Flow at Appleby Operation Preserving Whole Stomach for Central Pancreatic Cancer.	Akifumi Kimura	小児科
World Journal of Surgery 36():P 2171-2178, 2012. 5	Liver Resection for Multiple Colorectal Liver Metastases with Surgery Up-front Approach: Bi-institutional Analysis of 736 Consecutive Cases	Akio Saiura	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Experimental and Therapeutic Medicine 3() . P 931 - 936 . 2012 . 5	Membranous and cytoplasmic expression of epidermal growth factor receptor in metastatic pancreatic ductal adenocarcinoma	Einama Takahiro	小児科
Experimental and Therapeutic Medicine 3() . P 931 - 936 . 2012 . 5	Membranous and cytoplasmic expression of epidermal growth factor receptor in metastatic pancreatic ductal adenocarcinoma	Einama Takahiro	小児科
Journal of Clinical Oncology 30(13) : P 1519 - 1526 . 2012 . 5	Optimal Colorectal Cancer Staging criteria in TNM Classification	Ueno Hideki	小児科
World Journal of Surgery 36() : P 2187 - 2191 . 2012 . 5	The Implications of Positive Peritoneal Lavage Cytology in Potentially Resectable Pancreatic Cancer	Ryuji Yoshioka	小児科
Surgery 151(5) : P 745 - 755 . 2012 . 5	The effect of adding fish oil to parenteral nutrition on hepatic mononuclear cell function and survival after intraportal bacterial challenge in mice.	Moriya Tomoyuki	小児科
Surgery 151(5) : P 667 - 673 . 2012 . 5	Video-assisted thoracoscopic surgery for esophageal cancer attenuates postoperative systemic responses and pulmonary complications	Hironori Tsujimoto	小児科
Artificial Organs 36(4) . P 409 - 417 . 2012 . 4	Assessment of a Tissue-Engineered Gastric Wall Patch in a Rat Model	Tomoyuki Maemura	小児科
Annals of Surgical Oncology 19(4) . P 1160 - 1166 . 2012 . 4	Clinical implications of occult metastases and isolated tumor cells in sentinel and non-sentinel lymph nodes in early breast cancer patients:serial step section analysis with long-term follow-up	Takeshita Takashi	小児科
Gastrointestinal Endoscopy 75(4) . P 841 - 848 . 2012 . 4	Endoscopic submucosal dissection for pig esophagus by using photocrosslinkable chitosan hydrogel as submucosal fluid cushion	Isao Kumano	小児科
Surgical Laparoscopy Endoscopy & Percutaneous Techniques 22(2) : P e71 - e75 . 2012 . 4	Laparoscopic Treatment for Median Arcuate Ligament Syndrome:The Usefulness of Intraoperative Doppler Ultrasound to Confirm the Decompression of the Celiac Artery	Tsujimoto Hironori	小児科
Oncology Reports 28() . P 2205 - 2210 . 2012 . 4	Laparoscopic gastrectomy after incomplete endoscopic resection for early gastric cancer	Hironori Tsujimoto	小児科
Journal of Gastroenterology and Hepatology 28() : P 297 - 302 . 2013 . 2	Distance between the esophageal tumor and the aorta measured by using the contrast-enhanced attenuation on computed tomography for predicting this tumor invading aorta.	Hironori Tsujimoto	外科
Surgery 153(2) P 262 - 271 . 2013 . 1	Removal of increased circulating CD4 + CD25 + Foxp3 + regulatory T cells in patients with septic shock using hemoperfusion with polymyxin B-immobilized fibers	Satoshi Ono	外科
Surgery 153(2) P 282 - 286 . 2013 . 1	Right-sided retrocaval approach using guidance via the lesser sac for Spiegel lobe resection.	Junji Yamamoto	外科
日本外科学会雑誌 9(4) : P 321 - 326 . 2012 . 11	PAMPs(Pathogen-associated molecular patterns)とTLRs(Toll-like receptors)病原関連分子パターンとトル様受容体	辻本広紀	外科
Colorectal Disease 14(9) : P 1065 - 1074 . 2012 . 9	Evaluation of the seventh edition of the tumour, node, metastasis (TNM) classification for colon cancer in two nationwide registries of the United States and Japan.	Hashiguchi Yojiro	外科
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 4() . P 507 - 513 . 2012 . 9	Predictive value of the pathological extent of tumor invasion in endoscopic resection margins positive for residual tumor cells in surgically resected specimens of early gastric cancer	Tsujimoto Hironori	外科
ONCOLOGY LETTERS 4() : P 1135 - 1139 . 2012 . 8	Tolerability of adjuvant chemotherapy with S-1 after curative resection in patients with stage II / III gastric cancer	Tsujimoto Hironori	外科
Journal of Surgical Research 175(2) . P 83 - 88 . 2012 . 6	The Postoperative Serum Interleukin-15 Concentration Correlates with Organ Dysfunction and the Prognosis of Septic Patients Following Emergency Gastrointestinal Surgery.	Akifumi Kimura	外科
Annals of Surgical Oncology 19(5) . P 1517 - 1528 . 2012 . 5	Impact of race/ethnicity on prognosis in patients who underwent surgery for colon cancer: analysis for white, African, and East Asian Americans.	Hashiguchi Yojiro	外科
Hepato-Gastroenterology 59() . P 2650 - 2652 . 2012 . 5	Importance of Maintaining Left Gastric Arterial Flow at Appleby Operation Preserving Whole Stomach for Central Pancreatic Cancer.	Akifumi Kimura.	外科
Journal of Clinical Oncology 30(13) . P 1519 - 1526 . 2012 . 5	Optimal Colorectal Cancer Staging criteria in TNM Classification	Ueno Hideki	外科
Surgery 151(5) . P 745 - 755 . 2012 . 5	The effect of adding fish oil to parenteral nutrition on hepatic mononuclear cell function and survival after intraportal bacterial challenge in mice	Moriya Tomoyuki	外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Surgery 151(5):P 667 - 673, 2012, 5	Video-assisted thoracoscopic surgery for esophageal cancer attenuates postoperative systemic responses and pulmonary complications	Hironori Tsujimoto	外科
Annals of Surgical Oncology 19(4):P 1160 - 1166, 2012, 4	Clinical implications of occult metastases and isolated tumor cells in sentinel and non-sentinel lymph nodes in early breast cancer patients:serial step section analysis with long-term follow-up	Takeshita Takashi	外科
Gastrointestinal Endoscopy 75(4):P 841 - 848, 2012, 4	Endoscopic submucosal dissection for pig esophagus by using photocrosslinkable chitosan hydrogel as submucosal fluid cushion	Isao Kumano	外科
Surgical Laparoscopy Endoscopy & Percutaneous Techniques 22(2):P e71 - e75, 2012, 4	Laparoscopic Treatment for Median Arcuate Ligament Syndrome:The Usefulness of Intraoperative Doppler Ultrasound to Confirm the Decompression of the Celiac Artery	Tsujimoto Hironori	外科
Oncology Reports 28():P 2205 - 2210, 2012, 4	Laparoscopic gastrectomy after incomplete endoscopic resection for early gastric cancer	Hironori Tsujimoto	外科
BioMed Research International ():P 1 - 9, 2013, 3	Improvement of Hydrodynamics-Based Gene Transfer of Nonviral DNA Targeted to Murine Hepatocytes.	Shingo Nakamura	外科
Advances in Stem Cells ():P 1 - 15, 2013, 2	HeLa Cells Consist of Two Cell Types, as Evidenced by Cytochemical Staining for Alkaline Phosphatase Activity: A Possible Model for Cancer Stem Cell Study.	Masahiro Sato	外科
Biology 2():P 341 - 355, 2013, 2	Targeted Toxin-Based Selectable Drug-Free Enrichment of Mammalian Cells with High Transgene Expression	Masahiro Sato	外科
埼玉県医学会雑誌 47(2):P 325 - 330, 2013, 2	気管支異物の3例	小森和幸	外科
J Biomed Mater Res B Appl Biomater 101(1):P 36 - 42, 2013, 1	Effects of PRP-containing fragmin/protamine microparticles in enhancing endothelial and smooth muscle cell growth and inducing collateral vessels in a rabbit model of hindlimb ischemia	Masanori Fujita	外科
麻酔 61(増刊):P 48 - 55, 2013, 1	非医師診療師による周術期管理師導入のめざすものは何か? —特定看護師(仮称)から看護師特定能力認証制度への検討経過も踏まえ—	西田博	外科
Journal of Artificial Organs 15(4):P 375 - 385, 2012, 12	Delivery system for autologous growth factors fabricated with low-molecular-weight heparin and protamine to attenuate ischemic hind-limb loss in a mouse model	Shingo Nakamura	外科
BioResearch Open Access 1(6):P 314 - 323, 2012, 12	Three-Dimensional Expansion Using Plasma-Medium Gel with Fragmin/Protamine Nanoparticles and FGF-2 to Stimulate Adipose-Derived Stromal Cells and Bone Marrow-Derived Mesenchymal Stem Cells.	Satoko Kishimoto	外科
日本臨床外科学会雑誌 73(12):P 3249 - 3254, 2012, 12	早期胆嚢癌術後に胆管癌が発生した胆管非拡張型膵胆管合流異常症の1例	小森和幸	外科
Tissue Engineering Part A 18(21):P 2239 - 2247, 2012, 11	Attenuation of Limb Loss in an Experimentally Induced Hindlimb Ischemic Model by Fibroblast Growth Factor-2/Fragmin/Protamine Microparticles as a Delivery System	Shingo Nakamura	外科
日本外科感染症学会雑誌 9(4):P 321 - 326, 2012, 11	PAMPs(Pathogen-associated molecular patterns)とTLRs(Toll-like receptors) 病原関連分子パターンとトル様受容体	辻本広紀	外科
Acta Medica Okayama 66(5):P 417 - 421, 2012, 10	Esophageal cancer initially thought to be accompanied by a solitary metastasis to an intrathoracic paraaortic lymph node.	Takuya Horio	外科
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 4():P 507 - 513, 2012, 9	Predictive value of the pathological extent of tumor invasion in endoscopic resection margins positive for residual tumor cells in surgically resected specimens of early gastric cancer	Tsujimoto Hironori	外科
脈管学 52():P 317 - 320, 2012, 9	全長にわたる瘤状拡大を伴った冠動脈瘤の2例	西村健二	外科
Shock 38(2):P 159 - 164, 2012, 8	Liposome-encapsulated hemoglobin attenuates cardiac dysfunction and sympathetic activity during hypohemoglobinemic shock	Nogami Yashiro	外科
ONCOLOGY LETTERS 47():P 1135 - 1139, 2012, 8	Tolerability of adjuvant chemotherapy with S-1 after curative resection in patients with stage II/III gastric cancer	Tsujimoto Hironori	外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Biomedical Science and Engineering 5(7): P 406 - 408, 2012	A simplified protocol for the semi-large scale recovery of plasmids from Escherichia coli grown on agar plates	Masahiro Sato	外科
日本形成外科学会誌 32(7): P 445 - 449, 2012	多血小板血漿(PRP)の有用な活性化の方法 ~塩化カルシウム法と凍結融解法との比較~	瀧川恵美	外科
Cloning & Transgenesis 1(1): P 1 - 4, 2012	Functional Recovery of a Whole Ovary Transplanted Into Syngenic Testis in Mice	Masahiro Sato	外科
Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine (): P 1 - 9, 2012	Effective expansion of human adipose-derived stromal cells and bone marrow-derived mesenchymal stem cells cultured on fragmin/protamine nanoparticles-coated substratum with human platelet-rich plasma.	Satoko Kishimoto	外科
Surgical Laparoscopy Endoscopy & Percutaneous Techniques 22(2): P e71 - e75, 2012	Laparoscopic Treatment for Median Arcuate Ligament Syndrome: The Usefulness of Intraoperative Doppler Ultrasound to Confirm the Decompression of the Celiac Artery	Tsujimoto Hironori	外科
Acta Neurochir Suppl (Wien) 118(0): P press - press, 2013	A suitable formula for estimating the volume gained by decompressive craniectomy in malignant hemispheric infarction.	Kimihiro Nagatani	脳神経外科
Br J Neurosurg. 0(0): P press - press, 2013	Diagnostic pitfalls associated with a large true posterior communicating artery aneurysm: a case report.	Kimihiro Nagatani	脳神経外科
Asian J Neurosurg 0(0): P press - press, 2013	Effects of a head-down tilt on cerebral blood flow in mice during bilateral common carotid artery occlusion.	Kimihiro Nagatani	脳神経外科
J Neurosurg. 118(3): P 705 - 706, 2013	Letters to the Editor: Diffusion tensor imaging and traumatic brain injury.	Satoru Takeuchi	脳神経外科
Acta Neurochir Suppl (Wien). 118(0): P press - press, 2013	The effect of hydrogen gas on a mouse bilateral common carotid artery occlusion.	Nagatani Kimihiro	脳神経外科
Clin Neurol Neurosurg 115(3): P 317 - 322, 2013	Ventriculomegaly after decompressive craniectomy with hematoma evacuation for large hemispheric hypertensive intracerebral hemorrhage.	Takeuchi Satoru	脳神経外科
Br J Neurosurg 27(1): P 102 - 104, 2013	Anterior cerebral artery dissecting aneurysm associated with untreated craniopharyngioma.	Takeuchi Satoru	脳神経外科
Journal of clinical neuroscience 20(2): P 301 - 305, 2013	Novel therapeutic use of polysaccharide nanosheets for arachnoid plasty and enhancement of venous tensile strength in rat microneurosurgery.	大谷直樹	脳神経外科
Neurosurgery 72(1): P 33 - 41, 2013	Increased xCT expression correlates with tumor invasion and outcome in patients with glioblastomas.	Takeuchi Satoru	脳神経外科
J Clin Neurosci (): P press - press, 2012	Hydrocephalus after decompressive craniectomy for hemispheric cerebral infarction.	Takeuchi Satoru	脳神経外科
PLoS one 7(): P i1744 - ages, 2012	Photomechanical wave-driven delivery of siRNAs targeting intermediate filament proteins promotes functional recovery after spinal cord injury in rats	Takahiro Ando	脳神経外科
レーザー学会第437回研究会報告 (): P -7 - -12, 2012	近赤外光が脳に及ぼす影響	苗代弘	脳神経外科
Journal of Cerebral Blood Flow & Metabolism 32(10): P 0 - 0, 2012	Effects of therapeutic hypothermia on inflammasome signaling after traumatic brain injury	Satoshi Tomura	脳神経外科
Journal of Cerebral Blood Flow & Metabolism 32(10): P 1939 - 1947, 2012	Effects of therapeutic hypothermia on inflammasome signaling after traumatic brain injury.	Satoshi Tomura	脳神経外科
Lancet. 380(): P 1381 - 1381, 2012	Magnesium for aneurysmal subarachnoid haemorrhage.	Satoru Takeuchi	脳神経外科
J Clin Neurosci 19(9): P 1305 - 1307, 2012	Vestibular schwannoma with repeated intratumoral hemorrhage.	Takeuchi Satoru	脳神経外科
Amino Acids 43(2): P 717 - 724, 2012	L-Leucine induces growth arrest and persistent ERK activation in glioma cells.	Takeuchi Satoru	脳神経外科
脳卒中の外科 40(2): P 100 - 105, 2012	高位病変CEAに対する3D-CTA+2D-CT合成画像支援の有用性と限界	和田孝次郎	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル 21(6): P 489 - 494, 2012	横骨動脈を用いた健側浅側頭動脈本幹から患側前大脳動脈への"hemibonnet bypass"にて急性期血行再建を行った進行性脳梗塞の1例	和田孝次郎	脳神経外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Shock () : P press - press . 2012 . 6	Effect of Hydrogen Gas on the Survival Rate of Mice Following Global Cerebral Ischemia	Kimihiro Nagatani	脳神経外科
Asian journal of neurosurgery 51 (2) : P 234 - 237 . 2012 . 5	Anaplastic hemangiopericytoma manifesting as a rapidly enlarging extracranial mass lesion	Otani N	脳神経外科
Clin Neurol Neurosurg 21 (4) : P 23 - 25 . 2012 . 5	Decompressive craniectomy after intravenous tissue plasminogen activator administration for stroke	Takeuchi S	脳神経外科
J Atheroscler Thromb () : P 664 - 672 . 2012 . 5	Impact of low-and high-density lipoprotein cholesterol levels on carotid intima-media thickness differs by smoking status in middle-aged men.	Taichirou Hayase	脳神経外科
Acta Neurochir (Wien) 154 (1) : P 87 - 88 . 2012 . 5	Intravenous tissue plasminogen activator treatment for ischemic stroke in dabigatran-treated patients	Takeuchi S	脳神経外科
Neurosurgery () . P press - press . 2012 . 4	Corticosteroid Suppression of Vascular Endothelial Growth Factor and Recurrence of Chronic Subdural Hematoma	Kimihiro Nagatani	脳神経外科
Photomed Laser Surg 30 (4) : P 231 - 233 . 2012 . 4	Focal increase in cerebral blood flow after treatment with near-infrared light to the forehead in a patient in a persistent vegetative state.	Nawashiro Hiroshi	脳神経外科
Clin Neurof Neurosurg () : P press - press . 2012 . 4	Usefulness of estimating the volume gained by decompressive craniectomy	Kimihiro Nagatani	脳神経外科
東日本整形災害外科学会雑誌 25 (1) : P 54 - 57 . 2013 . 3	cortical bone trajectoryによる腰椎椎弓根スクリュー刺入法—pedicle mapを用いた刺入点の決定とthree-step probingによる骨孔作成—	松川啓太郎	整形外科
日本骨・関節感染症学会雑誌 26 () . P 1 - 6 . 2013 . 2	急性四肢不全麻痺を来した頸椎化膿性脊椎炎の3例	松崎健一郎	整形外科
整形外科 64 (2) . P 155 - 158 . 2013 . 2	腰椎椎間孔部ヘルニアに対する低侵襲手術の経験-顕微鏡下対側侵入ヘルニア摘出術-	松川啓太郎	整形外科
Osteoporosis Japan 21 (1) . P 192 - 194 . 2013 . 1	大腿骨近位部骨折の術後患者に対する早期骨粗鬆症治療がQOL改善に及ぼす影響の検討	松崎健一郎	整形外科
整形外科 64 (1) . P 6 - 11 . 2013 . 1	新しい腰椎椎弓根スクリューの刺入法(cortical bone trajectory)CTを用いた100例の形態学的検討	松川啓太郎	整形外科
Osteoporosis Japan 21 (1) . P 102 - 105 . 2013 . 1	椎体骨梁微細構造に対する骨粗鬆症治療薬の効果 二重盲検法無作為割り付による介入試験の結果	松崎健一郎	整形外科
日本臨床スポーツ医学会誌 21 (1) . P 50 - 56 . 2013 . 1	銃剣道における運動器外傷・障害	尼子雅敏	整形外科
関東整形災害外科学会雑誌 43 (6) : P 443 - 448 . 2012 . 12	IMHS(intramedullary hip screw)早期折損に伴って生じた大腿骨転子下骨折偽関節の1例	松崎健一郎	整形外科
整形外科 63 (13) . P 1351 - 1354 . 2012 . 12	ダイバーに発症したガス含有腰椎椎間孔部ヘルニアの1例	松川啓太郎	整形外科
日本人工関節学会誌 42 () . P 447 - 448 . 2012 . 12	両側同時TKAと片側TKAの血液生化学的検査所見による手術侵襲の比較	三尾健介	整形外科
日本人工関節学会誌 42 () : P 293 - 294 . 2012 . 12	人工股関節置換術後のメタロシスに合併した嚢胞性腫瘍の金属分析	吉原愛雄	整形外科
肩関節 36 (2) . P 771 - 774 . 2012 . 11	若壮年自衛隊員における鎖骨・肩鎖関節部外傷の発生要因	尼子雅敏	整形外科
Journal of Hand Surgery(European Volume) 0 (0) . P 1 - 7 . 2012 . 10	Ulnar nerve strain at the elbow in patients with cubital tunnel syndrome:effect of simple decompression	K.Ochi	整形外科
脊椎脊髓ジャーナル 25 (9) . P 891 - 895 . 2012 . 9	胸椎破裂骨折に対しcortical bone trajectoryによる後方固定術を施行した1例	橋安津子	整形外科
Hip Joint 38 (0) . P 1041 - 1045 . 2012 . 8	M2a-Magnumカップを用いた人工股関節全置換術の短期成績	城本雄一郎	整形外科
臨床スポーツ医学 29 (8) : P 767 - 774 . 2012 . 8	青年期における腰椎外傷・障害の疫学的研究	佐々尾宙	整形外科
PLOS ONE 7 (6) . P 1 - 12 . 2012 . 6	Photodynamic Therapy Can Induce a Protective Innate Immune Response against Murine Bacterial Arthritis via Neutrophil Accumulation	Masamitsu Tanaka	整形外科
末梢神経 23 (1) : P 19 - 24 . 2012 . 6	手根管症候群の重症度診断におけるneurometerの有用性	有野浩司	整形外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌 37(3):P 504 - 508, 2012, 6	陳旧性前十字靭帯損傷に伴う変形性膝関節症に対して高位脛骨骨切り術と前十字靭帯再建術を同時に施行した2例	金子大毅	整形外科
関東膝を語る会誌 28(1):P 17 - 20, 2012, 4	Nail-patella syndrome に合併した反復性膝蓋骨脱臼に対してMPFL再建を施行した1例	笠原純	整形外科
Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine DOI:1(0):P 1 - 9, 2012, 4	Ultraviolet light-irradiated photocrosslinkable chitosan hydrogel to prevent bone formation in both rat skull and fibula bone defects.	Yoshifumi Tsuda	整形外科
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌 37(2):P 234 - 235, 2012, 4	当科におけるTKA施行後のDVT予防および出血対策のプロトコール	三尾健介	整形外科
Acta Derm Venereol 93(2):P 214 - 215, 2012, 3	Verbalizing Extremes of the Visual Analogue Scale for Pruritus: A Consensus Statement.	Furue M.	皮膚科
Journal of the European Academy of Dermatology and Venereology 27(2):P 231 - 234, 2012, 2	Close association between metal allergy and nail lichen planus: detection of causative metals in nail lesions	Nishizawa A	皮膚科
皮膚科の臨床 55(2):P 138 - 139, 2012, 2	イオパルソールによる薬疹の1例	芝容平	皮膚科
Acta Dermato Venereologica 93(1):P 99 - 99, 2012, 1	Acrosyringeal involvement of palmoplantar lesions of eosinophilic pustular folliculitis	Sato H T	皮膚科
The Journal of Dermatology 39(12):P 1010 - 1015, 2012, 12	Bullous pyoderma gangrenosum: A case report and review of the published work	Sakiyama Masayuki	皮膚科
皮膚科の臨床 54(12):P 1700 - 1701, 2012, 12	Infantile acropustulosisの1例	芝容平	皮膚科
Acta Dermato-Venereologica 92(4):P 367 - 371, 2012, 7	Impaired expression of Tim-3 on Th17 and Th1 cells in psoriasis	Kanai Y	皮膚科
Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergy 6(4):P 373 - 376, 2012, 7	アロマオイルの誤用で生じた接触皮膚炎	井上梨紗子	皮膚科
アレルギー-免疫 19(6):P 907 - 912, 2012, 6	【慢性痒疹と皮膚そう痒症の病態と治療】痒疹発症における好塩基球の役割	宇賀神つかさ	皮膚科
Br J Dermatol 166(4):P 888 - 891, 2012, 4	Congenital insensitivity to pain with anhidrosis: a case with preserved itch sensation to histamine and partial pain sensation	Tanaka T	皮膚科
Acta Dermato-Venereologica 92(4):P 360 - 361, 2012, 4	Erythrodermic Psoriasis Improved by Panitumumab, But Not Bevacizumab	Nishizawa A	皮膚科
Urologia Internationalis 90(3):P 253 - 258, 2013, 03	Enucleation of macronodules in a patient with ACTH-independent macronodular adrenal hyperplasia 7 years after unilateral adrenalectomy; Consideration of operative procedure	Keiichi Ito	泌尿器科
Int J Urol 19():P 1111 - 1111, 2012, 12	Editorial comment to outcome of small intestinal submucosa graft for repair of anterior urethral strictures	堀口明男	泌尿器科
The Journal of Urology 188(6):P 2410 - 2418, 2012, 12	Vorinostat and Bortezomib Synergistically Cause Ubiquitinated Protein Accumulation in Prostate Cancer Cells	Akinori Sato	泌尿器科
APMIS 120(11):P 890 - 900, 2012, 11	Altered expression of p27Kip1-interacting cell-cycle regulators in the adult testicular germ cell tumors: potential role in tumor development and histological progression	Miyai Kosuke	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌 103(6):P 691 - 696, 2012, 11	尿道狭窄症に対する経尿道的内尿道切開術の有効性の検討	磯野誠	泌尿器科
泌尿器科紀要 59(4):P 217 - 223, 2012, 11	後腹膜鏡下腎尿管摘除術の臨床成績の検討	濱田真輔	泌尿器科
泌尿器外科 25(10):P 2055 - 2057, 2012, 10	ペットボトルによる陰茎絞扼症の1例	濱田真輔	泌尿器科
Audio-Visual Journal of JUA ():P press - press, 2012, 10	腹腔鏡下前立腺全摘除術における尿禁制の早期回復を目的とした手術手技—posterior stitchを中心に	伊藤敬一	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌 103(4):P 636 - 639, 2012, 7	MRI所見によって精巣を温存し得た精巣区域梗塞の一例	高橋正博	泌尿器科
Audio-Visual Journal of JUA 18(3):P 18-15 - 16-15, 2012, 7	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術における術中アプローチの変更—右側の手術に関して	伊藤敬一	泌尿器科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 3(6):P 937 - 944, 2012	Impact of increased erythropoietin receptor expression and elevated serum erythropoietin levels on clinicopathological features and prognosis in renal cell carcinoma	Keiichi Ito	泌尿器科
泌尿器外科 25(増刊):P 1017 - 1020, 2012	小径腎癌に対する経皮的ラジオ波焼灼術	伊藤敬一	泌尿器科
OncoTargets and Therapy 5():P 67 - 75, 2012	Vorinostat approved in Japan for treatment of cutaneous T-cell lymphomas: status and prospects.	Akinori Sato	泌尿器科
Stem Cell Res 10(2):P 147 - 155, 2013	Aquaporin 1-positive stromal niche-like cells directly interact with N-cadherin-positive clusters in the basal limbal epithelium.	Higa K	眼科
あたらしい眼科 30(3):P 289 - 294, 2013	実験的ぶどう膜炎	竹内大	眼科
Acta Ophthalmol 91(2):P 133 - 139, 2013	A New central-peripheral corneal curvature method for intraocular lens power calculation after exxcimer laser refractive surgery.	Saiki M	眼科
Immunotherapy 5(1):P 91 - 102, 2013	A systematic review of biologics for the treatment of noninfectious uveitis.	Masaru Takeuchi	眼科
Br J Ophthalmol 96(11):P 1378 - 1379, 2012	Non-aspiration technique to induce posterior vitreous detachment in minimum incision vitrectomy system.	M.Takeuchi	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science 53(11):P 7389 - 7394, 2012	Phototoxicity of Indocyanine Green and Brilliant Blue G under Continuous Fluorescent Illumination on Cultured Human Retinal Pigment Epithelial Cells.	Kei Takayama	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology 56(2):P 187 - 189, 2012	Bilateral orbital inflammation following intravesical bacille Calmette-Gu?rin immunotherapy for bladder cancer.	A.Takeuchi	眼科
Invest. Ophthalmol. Vis. Sci. 53(11):P 7389 - 7394, 2012	Phototoxicity of indocyanine green and Brilliant Blue G under continuous fluorescent illumination on cultured human retinal pigment epithelial cells	Kei Takayama	眼科
日本眼科学会雑誌 116(10):P 967 - 971, 2012	イレウスを神経学的徴候とした視神経脊髄炎の1例	高山圭	眼科
眼科臨床紀要 5(10):P 977 - 977, 2012	ラニズマブ硝子体注射が奏功したPEHCRの1例	高山圭	眼科
眼科 臨時増刊号-眼科薬物療法 54(10):P 1385 - 1392, 2012	網膜疾患総論 炎症性眼底疾患の薬物療法	竹内大	眼科
眼薬理 26(1):P 58 - 60, 2012	内眼炎のステロイドによる治療	竹内大	眼科
Clinical Ophthalmology 6(0):P 865 - 869, 2012	Treatment of peripheral exudative hemorrhagic chorioretinopathy by intravitreal injections of ranibizumab.	Takayama Kei	眼科
Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology 250(12):P 1843 - 1849, 2012	Impact of high myopia on the performance of SD-OCT parameters to detect glaucoma	Takuhei Shoji	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology 56(5):P 432 - 435, 2012	The 2009 prospective multi-center epidemiologic survey of uveitis in Japan.	Ohguro N	眼科
Eur Arch Otorhinolaryngol ():P 1 - 1, 2013	Transoral videolaryngoscopic surgery for oropharyngeal, hypopharyngeal, and supraglottic cancer	Tomifuji M	耳鼻咽喉科
ORL 74(4):P 211 - 214, 2012	Hemophagocytic Syndrome in the Course of Sudden Sensorineural Hearing Loss.	Tamura Atsushi	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 105(12):P 1199 - 1203, 2012	放射線性口腔咽頭粘膜炎に対し半夏瀉心湯が奏功した2症例	田中雄也	耳鼻咽喉科
頭頸部外科 22(2):P 193 - 198, 2012	顎下腺腫瘍64例の臨床統計	田中伸明	耳鼻咽喉科
嚥下医学 1(2):P 385 - 392, 2012	リン酸カルシウム骨ペーストを用いた新たな誤嚥防止手術	田中伸明	耳鼻咽喉科
診断と治療 101():P 310 - 315, 2013	【主訴から診断へー臨床現場の思考経路】 感覚器の訴え 咽声	塩谷 彰浩	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 85(2) P 132 - 139, 2013	【ここまでできる外来手術】 喉頭領域の日帰り手術	荒木幸仁	耳鼻咽喉科
喉頭 24(2):P 53 - 57, 2012	【喉頭癌治療の現状と展望一どのように治療法を使い分けていくか】 喉頭癌に対する経口的切除術	富藤 雅之	耳鼻咽喉科
ENTONI 148():P 18 - 26, 2012	【特集・唾液腺腫瘍- 診療所で可能な鑑別診断-顎下腺腫瘍の鑑別診断	松延毅	耳鼻咽喉科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
音声言語医学 53(3):P 187 - 193, 2012. 7	声帯内注人術 - 何をどこに:適応と限界 BIOPEX注人術	荒木幸仁	耳鼻咽喉科
JOHNS 28(6):P 859 - 865, 2012. 6	【目で見る咽喉頭・気管食道の検査】咽頭のMRI検査	山下拓	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 84(6):P 374 - 380, 2012. 6	【耳鼻咽喉科手術におけるナビゲーションとモニタリング】咽頭・音声 反回神経術中モニタリング	荒木幸仁	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 84(5):P 227 - 232, 2012. 5	最新の診療NAVI:日常診療必携, 炎症・感染症NAVI HIV感染	松延毅	耳鼻咽喉科
J Obstet Gynecol Res (0):P 872 - 875, 2013. 3	Complete remission of recurrent ovarian clear cell carcinoma by chemotherapy with bevacizumab, trabectedin, and oxaliplatin.	Masashi Takano	産科婦人科
Int J Gynecol Cancer 23(2):P 355 - 360, 2013. 3	Weekly administration of bevacizumab, gemcitabine, and oxaliplatin in patients with recurrent and refractory ovarian cancer: a preliminary result of 19 cases.	Yuji Ikeda	産科婦人科
J.Obstet.Gynaecol.Res.Vol.39(1)p166-169,January 2013 39(1):P 166 - 169, 2013. 1	Can measurement of maternal anti-cytomegalovirus immunoglobulin-M antibody levels be used to screen for cytomegalovirus infection in embryos and fetuses?	Masashi Yoshida	産科婦人科
J Gynecol Oncol 24(1):P 37 - 43, 2013. 1	Clear cell histology as a poor prognostic factor for advanced epithelial ovarian cancer: A single institutional case series through central pathologic review.	Morikazu Miyamoto	産科婦人科
関東連合産科婦人科学会雑誌 49(2):P 627 - 631, 2012. 11	ベバシズマブ、ゲムシタビン、オキサリプラチン併用療法が著効を示した多剤耐性卵巣漿液性腺癌の2例	小宮慎之介	産科婦人科
関東連合産婦人科雑誌 49(4):P 509 - 514, 2012. 11	当院で治療した卵黄嚢腫瘍15症例の検討	宮本守員	産科婦人科
Cytopathology 23(5):P 334 - 337, 2012. 10	Immunocytochemistry of mesenteric malignant mixed müllerian tumour in peritoneal effusion cytology: case report.	Tomohiro Oda	産科婦人科
産科と婦人科 79(10):P 1211 - 1216, 2012. 10	卵巣明細胞腺癌と子宮内膜症—分子生物学的アプローチと治療戦略の展望 2.卵巣明細胞腺癌の治療と今後の展望	高野政志	産科婦人科
産婦人科の実践 61(10):P 1411 - 1416, 2012. 10	産婦人科学に求められる近未来像	古谷健一	産科婦人科
Oncology Letters 4(5):P 883 - 888, 2012. 9	Outcomes of palliative bowel surgery for malignant bowel obstruction in patients with gynecological malignancy	Tomoko Goto	産科婦人科
埼玉県産科婦人科学会雑誌 42(1):P 131 - 136, 2012. 9	卵管間質部妊娠の保存療法?3例の検討	笹秀典	産科婦人科
Eur J Gynaecol Oncol 33(4):P 414 - 418, 2012. 7	Large cell neuroendocrine carcinoma arising in mature cystic teratoma: a case report and review of the literature.	Morikazu Miyamoto	産科婦人科
日本臨床細胞学会雑誌 51(5):P 348 - 352, 2012. 7	CIN合併妊婦における妊娠中の保存的管理に関する検討	加藤雅史	産科婦人科
Eur J Gynaecol Oncol 13(3):P 269 - 273, 2012. 7	Normal serum CA125 half-life and normal serum nadir CA125 level in patients with ovarian cancers.	Tomoyuki Yoshikawa	産科婦人科
産婦人科の実践 61(7):P 1071 - 1073, 2012. 7	産科外来診療フローチャート?妊婦管理のすべて?合併症妊娠の評価と管理:卵巣腫瘍	古谷健一	産科婦人科
Histopathology 60(7):P 1073 - 1083, 2012. 6	ACTN4 gene amplification and actinin-4 protein overexpression drive tumour development and histological progression in a high-grade subset of ovarian clear-cell	Sohei Yamamoto	産科婦人科
J Exp Clin Cancer Res 31(1):P 53 - 53, 2012. 6	Clear cell carcinoma of the ovary: Is there a role of histology-specific treatment?	Masashi Takano	産科婦人科
産科と婦人科 79(6):P 748 - 753, 2012. 6	プラチナ感受性再発卵巣癌の取扱い	高野政志	産科婦人科
日本婦人科腫瘍学会雑誌 30(3):P 511 - 516, 2012. 6	再発子宮体癌に対する塩酸イリノテカンとプラチナ製剤併用療法の有効性について	宮本守員	産科婦人科
Int J Gynecol Pathol 31(3):P 254 - 263, 2012. 5	Aberrant Expression of the Mammalian Target of Rapamycin, Hypoxia-inducible Factor-1 α , and Glucose Transporter 1 in the Development of Ovarian Clear-cell Adenocarcinoma.	Masafumi Kato	産科婦人科
Eur J Gynaecol Oncol 33(6):P 579 - 583, 2012. 5	Prognosis of high grade endometrial cancer: A comparison of serous type and clear cell type to Grade 3 endometrioid type	Tomoko Goto	産科婦人科
Int J Gynecol Pathol 31(3):P 254 - 263, 2012. 5	The mTOR-HIF-1 α -Glut1 signaling is highly associated with ovarian clear-cell adenocarcinoma development	Masafumi Kato	産科婦人科
メディカル・テクノロジー 40(5):P 534 - 537, 2012. 5	子宮内膜症と臨床検査	笹秀典	産科婦人科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本周産期・新生児医学会雑誌、 48(1):P 111 - 114, 2012. 5	重症ITPを併発した Marfan 症候群合併妊娠の一例	堀井美帆	産科婦人科
Modern Pathology 25(4):P 615 - 624, 2012. 4	Loss of ARID1A protein expression occurs as an early event in ovarian clear-cell carcinoma development and frequently coexists with PIK3CA mutations	Sohei Yamamoto	産科婦人科
Clin Cancer Res 18(5):P 1374 - 1385, 2012. 3	High-risk ovarian cancer based on 126-gene expression signature is uniquely characterized by down-regulation of antigen presentation pathway.	Kosuke Yoshihara	産科婦人科
International Journal of Gynecological Pathology 31(2) P 116 - 124, 2012. 3	Histological grading of ovarian clear cell adenocarcinoma:proposal for a simple and reproducible grouping system based on tumor growth architecture	Yamamoto Sohei	産科婦人科
関東連合産科婦人科学会誌、 49(1):P 63 - 66, 2012. 3	妊婦のHIV関連血小板減少症に対してHAART療法が奏功した1例	渋谷剛志	産科婦人科
日本婦人科腫瘍学会雑誌 30(2):P 143 - 150, 2012. 3	当院で経験した子宮腺肉腫の3症例	加藤雅史	産科婦人科
Mod Pathol 25(1) P 122 - 130, 2012. 1	Accumulative copy number increase of MET drives tumor development and histological progression in a subset of ovarian clear-cell adenocarcinomas.	Sohei Yamamoto	産科婦人科
Obstetrics and Gynecology International 12():P 1 - 3, 2012. 1	Indications and outcomes of uterine artery embolization in patients with uterine leiomyomas	Hidenori Sasa	産科婦人科
International of Gynecological Cancer 22(1):P 70 - 75, 2012. 1	Intravenous/Intraperitoneal Paclitaxel and Intraperitoneal Carboplatin in Patients With Epithelial Ovarian, Fallopian Tube, or Peritoneal Carcinoma	Shoji Nahao	産科婦人科
Virchows Archiv 460(1):P 77 - 87, 2012. 1	PIK3CA mutations and loss of ARID1A protein expression are early events in the development of cystic ovarian clear-cell adenocarcinoma.	Sohei Yamamoto	産科婦人科
日本婦人科腫瘍学会雑誌、 30(1):P 80 - 85, 2012. 1	大細胞神経内分泌癌への分化を示した成熟嚢胞性奇形腫の悪性転化の一例	宮本守員	産科婦人科
Urologia Internationalis 90(3) P 253 - 258, 2013. 3	Enucleation of macronodules in a patient with ACTH-independent macronodular adrenal hyperplasia 7 years after unilateral adrenalectomy. Consideration of operative	Keiichi Ito	放射線科
日磁医誌 33(1) P 35 - 38, 2013. 3	前立腺におけるdiffusion kurtosis imagingの初期経験	田村千香	放射線科
Surgery 153(2) P 282 - 286, 2013. 1	Right-sided retrocaval approach using guidance via the lesser sac for Spiegelhebe lobe resection.	Junji Yamamoto	放射線科
PEPARS 73():P 1 - 8, 2013. 1	近年のMDCTの進歩と顔面移植のCT angiography	曾我茂義	放射線科
RADIOISOTOPES 61(12) () P 613 - 618, 2012. 12	#U99m#URTc 供給不足終息後のSPECT検査数に関するアンケート調査と#U99m#URMo/#U99m#URTcジェネレータ運用収支に関するモデル解析	木下亮	放射線科
AJR Am J Roentgenol. 199(4) P W496 - W500, 2012. 10	An Intravoxel Incoherent Motion Diffusion-Weighted Imaging Study of Prostate Cancer	Hiroshi Shinmoto	放射線科
臨床核医学 45(5):P 74 - 77, 2012. 10	「印象記」第10回アジアオセアニア核医学生物学会議	小須田茂	放射線科
Jpn J Radiol 30(7):P 606 - 611, 2012. 8	Multiple atypical polypoid adenomyoma of the uterus	Masahiro Horikawa	放射線科
臨床核医学 45(4):P 55 - 60, 2012. 8	「リレー講座」診療に役立つ核医学の基本-専門医試験も見据え-「内分泌他」	小須田茂	放射線科
日本泌尿器科学会雑誌 103(4):P 636 - 639, 2012. 7	MRI所見によって精巣を温存し得た精巣区域梗塞の一例	高橋正博	放射線科
J Comput Assist Tomogr 36(3) P 323 - 329, 2012. 6	Comprehensive Comparative Study of Computed Tomography-Based Estimates of Split Renal Function for Potential Renal Donors: Modified Ellipsoid Method and Other	Shigeyoshi Soga	放射線科
臨床画像 28(6):P 677 - 688, 2012. 6	核医学2012 呼吸器・腎臓核医学診断	小須田茂	放射線科
Neuroradiology 54(5) P 521 - 523, 2012. 5	Congenital external carotid?internal carotid artery anastomosis associated with contralateral non-bifurcating cervical carotid artery	Kanji Nakai	放射線科
Hepato-Gastroenterology 59() P 2650 - 2652, 2012. 5	Importance of Maintaining Left Gastric Arterial Flow at Appleby Operation Preserving Whole Stomach for Central Pancreatic Cancer.	Akifumi Kimura	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Nuclear Medicine 26(3):P 281-285, 2012. 4	Comparison of animal studies between interstitial magnetic resonance lymphography and radiocolloid SPECT/CT lymphoscintigraphy in the head and neck region	Kitamura Naoto	放射線科
Photomed Laser Surg 30(4):P 231-233, 2012. 4	Focal increase in cerebral blood flow after treatment with near-infrared light to the forehead in a patient in a persistent vegetative state.	Nawashiro Hiroshi	放射線科
Photomed Laser Surg 30(4):P 231-233, 2012. 4	Focal increase in cerebral blood flow after treatment with near-infrared light to the forehead in a patient with persistent vegetative state	Hiroshi Nawashiro	放射線科
Anesthesiology 118(1):P 1-9, 2013. 1	Co-administration of Hydrogen Gas as Part of the Carrier Gas Mixture Suppresses Neuronal Apoptosis and Subsequent Behavioral Deficits Caused by Neonatal Exposure to Sevoflurane in Mice	Yonamine Ryuji	麻酔科
臨床麻酔 36(6):P 927-935, 2012. 6	OPEN TCIとは何なのか -The World of Open TCI-	風間富栄	麻酔科
Plast. Reconstr. Surg. 131(2):P 236-240, 2013. 2	Application of Poly-L-Lactic Acid Nanosheet as a Material for Wound Dressing	青木伸峰	形成外科
J Biomed Mater Res B Appl Biomater 101(1):P 36-42, 2013. 1	Effects of PRP-containing fragmin/protamine microparticles in enhancing endothelial and smooth muscle cell growth and inducing collateral vessels in a rabbit model of hindlimb ischemia	Masanori Fujita	形成外科
Journal of Artificial Organs 15(4):P 375-385, 2012. 12	Delivery system for autologous growth factors fabricated with low-molecular-weight heparin and protamine to attenuate ischemic hind-limb loss in a mouse model	Shingo Nakamura	形成外科
Tissue Engineering Part A 18(21):P 2239-2247, 2012. 11	Attenuation of Limb Loss in an Experimentally Induced Hindlimb Ischemic Model by Fibroblast Growth Factor-2/Fragmin/Protamine Microparticles as a Delivery System	Shingo Nakamura	形成外科
Journal of Electron Microscopy 61(5):P 327-334, 2012. 11	The role of collagen arrangement change during tendon healing demonstrated by scanning electron microscopy.	佐々木薫	形成外科
Bio-Medical Materials and Engineering 22():P 301-310, 2012. 10	Novel hydrocolloid-sheet as wound dressing to stimulate healing-impaired wound healing in diabetic db/db mice.	Satoshi Yanagibayashi	形成外科
Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery 46():P 209-211, 2012. 9	Squamous cell carcinoma arising in a giant epidermal cyst of the perineum: A case report and literature review	Yuki Sumi	形成外科
日本形成外科学会誌 32(7):P 445-449, 2012. 7	多血小板血漿(PRP)の有用な活性化の方法 ~塩化カルシウム法と凍結融解法との比較~	瀧川恵美	形成外科
Journal of Radiation Research 53(3):P 385-394, 2012. 6	Protective Effect of Prostaglandin E1 on Radiation-Induced Proliferative Inhibition and Apoptosis in Keratinocytes and Healing of Radiation-Induced Skin Injury in Rats	Megumi Takikawa	形成外科
Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine ():P 1-9, 2012. 4	Effective expansion of human adipose-derived stromal cells and bone marrow-derived mesenchymal stem cells cultured on fragmin/protamine nanoparticles-coated substratum with human platelet-rich plasma.	Satoko Kishimoto	形成外科
WOUNDS A compendium of Clinical Research and Practice 24(4):P 91-98, 2012. 4	Radiation-induced Skin Injury on the Upper Arm Following Cardiac Interventional Radiology: A Review and Case Study	Megumi Takikawa	形成外科
日本口腔感染症学会雑誌 19(2):P 57-61, 2012. 11	口腔癌薬物療法中に発症したニューモシスチス肺炎が疑われた1例	横江秀隆	歯科口腔外科
Bio-Medical Materials and Engineering 22(0):P 301-310, 2012. 10	Novel hydrocolloid-sheet as wound dressing to stimulate healing-impaired wound healing in diabetic db/db mice.	Satoshi Yanagibayashi	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌 58(10):P 576-580, 2012. 10	舌癌治療中に発生したS-1が原因と考えられた間質性肺炎の1例	横江秀隆	歯科口腔外科
Bull Tokyo Dent Coll 53(2):P 83-90, 2012. 07	Two patients requiring surgical management for leakage of calcium hydroxide paste from root canal into infraorbital space	Hiroaki Ikawa	歯科口腔外科
日本臨床外科学会雑誌 73(12):P 3249-3254, 2012. 12	早期胆嚢癌術後に胆管癌が発生した胆管非拡張型隣胆管合流異常症の1例	小森和幸	総合臨床部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Surgical Oncology 19(4):P 1160 - 1166. 2012. 4	Clinical implications of occult metastases and isolated tumor cells in sentinel and non-sentinel lymph nodes in early breast cancer patients:serial step section analysis with long-term follow-up	Takeshita Takashi	総合臨床部
埼玉医会誌 59(4):P 217 - 220. 2013. 3	血液培養ボトルの採血量に関する検討	濱本隆明	検査部
Diagnostic Microbiology and Infectious Disease 74(0):P 183 - 185. 2012. 10	Bacteremia due to Mycobacterium massiliense in a patient with chronic myelogenous leukemia: case report	Takaaki Hamamoto	検査部
Cytopathology 23(5):P 334 - 337. 2012. 10	Immunocytochemistry of mesenteric malignant mixed mullerian tumour in peritoneal effusion cytology: case report.	Tomohiro Oda	検査部
J Trauma Acute Care Surg 74(3):P 808 - 812. 2013. 3	Hemodilution as a result of aggressive fluid resuscitation aggravates coagulopathy in a rat model of uncontrolled hemorrhagic shock	西紘一郎	救急部
ビタミン 86(12):P 671 - 677. 2012. 12	ビタミンE同族体が高脂肪食誘導性肥満マウスの耐糖能に及ぼす影響	近松出穂	救急部
Journal of Thrombosis Haemostasis 10():P 2137 - 2148. 2012. 10	Fibrinogen γ -chain peptide-coated, ADP-encapsulated liposomes rescue thrombocytopenic rabbits from noncompressible	西川可穂子	救急部
プレホスピタルケア 25(5):P 111 - 111. 2012. 10	窒息CPA傷病者で現場では異物除去できなかったが社会復帰した事例	北田将次	救急部
Clinical Neuroscience 30(6):P 707 - 709. 2012. 6	有機リン中毒	高須朗	救急部
Journal of the American Heart Association 2(1):P 1 - 10. 2013. 1	Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitors Attenuate Endothelial Function as Evaluated by Flow-Mediated Vasodilatation in Type 2 Diabetic Patients	Ayaori Makoto	集中治療部
Journal of Echocardiography 10(3):P 98 - 100. 2012. 9	The dramatic 3D IVUS imaging demonstrating a dislodged coronary stent	Yokoi Kensuke	集中治療部
Shock 38(2):P 159 - 164. 2012. 8	Liposome-encapsulated hemoglobin attenuates cardiac dysfunction and sympathetic activity during hypo-hemoglobinemic shock	Nogami Yashiro	集中治療部
Circulation 126(5):P 598 - 603. 2012. 7	Hyperbilirubinemia, Augmentation of Endothelial Function, and Decrease in Oxidative Stress in Gilbert Syndrome.	Tatsuya Maruhashi	集中治療部
Internal Medicine 51(13):P 1651 - 1652. 2012. 7	Importance of Platypnea orthodeoxia in the differential diagnosis of dyspnea.	Takase Bonpei	集中治療部

計 306

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 野村 總一郎		
管理担当者氏名	庶務課長 中嶋 英生	医事課長 平本 豊	
	薬剤部長 曾根原 亘	医療情報部長 木村 文彦	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		庶務課 医療情報部 薬剤部 手術部 看護部	カルテ等の病歴資料は医療情報部で一括管理している。外来カルテは診療科ごと、入院カルテは入院期間ごとに作成され電算機に登録管理されており、保存期間は10年である。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課	文書管理規則等に基づき、各担当課において作成文書・文書分類番号・保存期間等を入力し管理してる。
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	教務課	
	閲覧実績	庶務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部		
第規 則 号 第 一 掲 条 の 一 体 制 第 一 項 各 号 状 及 び 第 九 条 の 二 十	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	文書管理規則等に基づき、各担当課において作成文書・文書分類番号・保存期間等を入力し管理してる。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全推進室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全推進室	

三 第 一 項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
------------------	------------------------------------	-----

		保管場所	分類方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第 一 条の十 一 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号 に 掲 げ る 体 制 の 確 保 の 状 況	院内感染のための指針の策定状況	文書管理規則等に基づき、各担当課において作成文書・文書分類番号・保存期間等を入力し管理してる。	
		院内感染対策のための委員会の開催状況		感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況		感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況		薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況		薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況		薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況		薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況		材料部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況		材料部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	材料部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	材料部			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 野村總一郎
閲覧担当者氏名	各診療科部長 庶務課長 医事課長 薬剤部長 教務課長
閲覧の求めに応じる場所	病院第 3 会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	77.9%	算定期間	平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	12,916人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,008人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	6,304人	
	D: 初診の患者の数	26,378人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 安全管理システムの構築、医療従事者の研鑽、安全管理組織の充実、インシデントレポートの推進、医療事故発生時の対応方針、患者家族との情報交換、患者相談窓口の設置	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
・ 活動の主な内容： (1) 病院内における安全管理のための指針の整備に関する事 (2) 病院内における安全管理のための医療事故の報告要領に関する事 (3) インシデント報告及びアクシデント報告に基づく医療事故防止に必要な方策の策定に関する事 (4) 医療事故発生時の対応要領に関する事 (5) 安全管理体制確保のために必要な職員の教育研修制度に関する事	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 12回
・ 研修の主な内容： (1) 医療安全研修の実践 (2) 安全対策プロジェクトチームの取り組み (3) 採用時オリエンテーション (4) 院外講師による医療安全に関する講演 (5) 麻薬施用者講習会	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 合併症事例に係る報告の義務化 (2) 院内暴言・暴力に係る報告制度 (3) 安全対策プロジェクトチーム及び小委員会において改善策を検討及び検証のための病棟ラウンド	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (2) 名 ・ 活動の主な内容： (1) インシデント報告書の収集、分析、集計等を行うとともに再発防止を検討 (2) インシデント事例及び再発防止策の職員への周知・確認 (3) 医療安全に関する研修の企画立案及び実施 (4) 安全管理マニュアルの作成及び修正	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 院内感染の未然防止、発生時の迅速適切な対処を定めた基本方針、感染対策委員会、感染対策室及び感染管理チームの設置、各診療科等の感染対策管理のための責任者の配置、感染対策マニュアルの整備、院内感染発生時の対処、各種報告の義務、職員研修の実施及び患者等との情報共有</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<p>・ 活動の主な内容： (1) 院内感染対策に関すること (2) 院内感染管理体制に関すること (3) 集団発生するおそれのある感染症の対策に関すること</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3回
<p>・ 研修の主な内容： (1) 医療安全研修の実践 (2) 知っておきたい耐性菌とその対策 (3) 薬剤耐性アシネトバクターの現状と対策</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 携帯版の感染対策マニュアルを作成し全職員に配布、携帯を義務付 (2) イベント発生に即応した薬剤耐性菌やインフルエンザ等に関する職員教育の実施 (3) ATP拭き取り検査器等を使用した実地指導の実施 (4) 反復したラウンドを実施し遵守状況を数値可視化 (5) 部署毎に手指衛生使用量を計測し、1入院患者1日あたりの手指衛生回数をフィードバック (6) 蓄尿の届け出、許可制を導入</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5回
・ 研修の主な内容： (1) 輸液の感染管理(2回) (2) 麻薬施用者講習会 (3) 薬剤に関する勉強会 (4) 初任者研修 薬剤の取扱い(2回) (5) 初任者オリエンテーション	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： ① 医薬品の選定 ② 医薬品管理 ③ 調剤 ④ 薬剤管理指導業務 ⑤ 医薬品情報 ⑥ 地域薬剤師会との連携	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 医薬品の安全確認のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施 【収集方法】 ① 製薬会社医薬品情報担当者からの情報収集 ② 医薬品安全対策情報(DSU)からの情報収集 ③ PMDA、日本医療機能評価機構のHPからの情報収集 【周知方法】 ① 院内メール、文書による配布、医療用端末における「掲示板」への掲示、薬剤部DIニュース (2) その他(病院独自で取り組んでいる内容) ① オーダリングシステムによる安全管理 ② 医療上からの必要性から併用禁忌薬を投与せざるを得ない場合の対処 「併用禁忌薬取扱い指針」・「併用禁忌薬取扱い要領」の策定	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 44回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 初任医師、看護師に対する各機器操作と安全管理(2) 使用者に対する機器操作と安全管理(3) 機器導入時の操作法と安全管理(4) 使用現場巡回安全管理指導	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容： 人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置をはじめとする機器について、日常点検、定期点検を院内各部署で分担又は部外委託で実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容： 病院ホームページから閲覧できる形の安全管理ガイドラインを作成し方針を示しているほか、リンク形式で添付文、マニュアル、研修内容、点検計画等の閲覧ができるようにしている。 また、院内メールを用いて随時安全情報を発信している。	